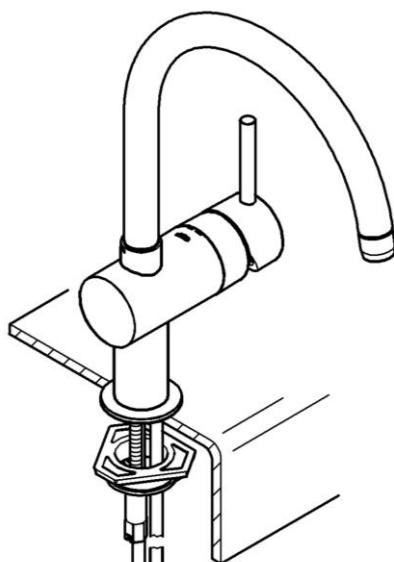
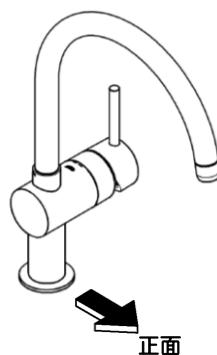


MINTA シングルレバーキッチン混合 据付説明書(お客様にお渡しください)

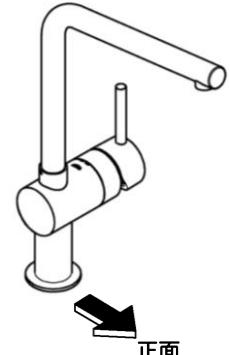
- 施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- この据付説明書に記載されていない方法で据付され、それが原因で故障が生じた場合は、商品の保証を致しかねますのでご注意ください。
- 施工完了後、正常に作動することを確認してください。お客様に引き渡すときは、取扱説明書にそって使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
- この据付説明書は、取扱説明書と共にお客様まで保管頂くように依頼してください。
- 同梱部材の数量、キズ等の確認をしてください。



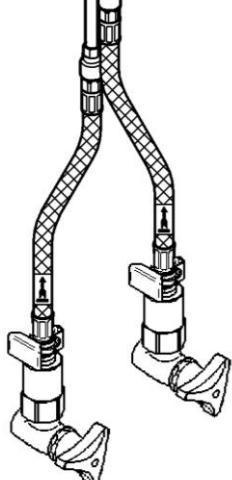
スワン型



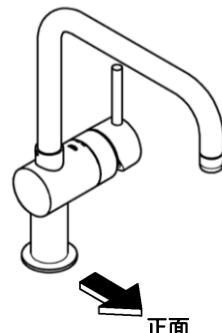
正面



正面



スクエア



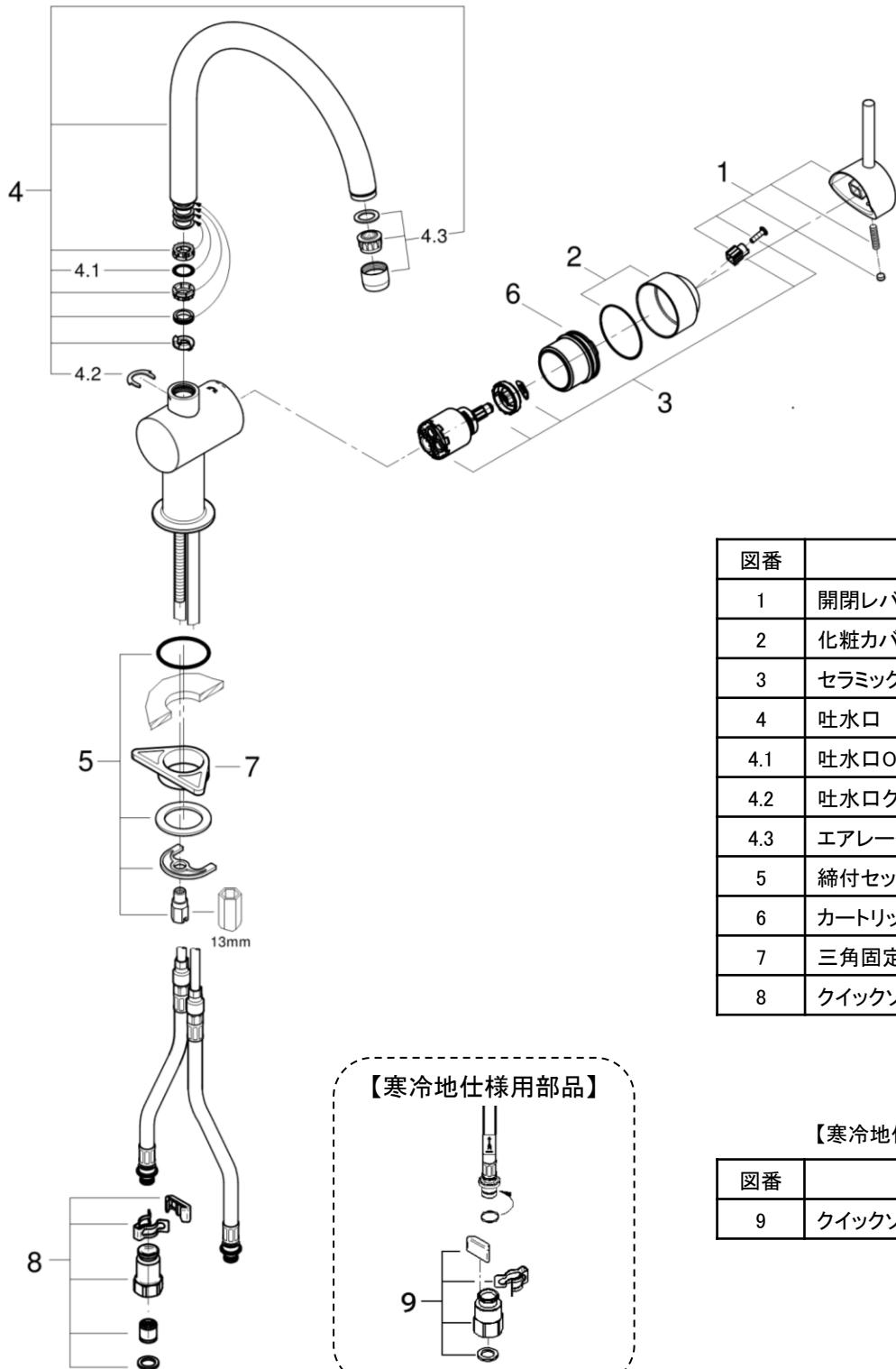
正面

※ 必ず施工前に欠品やキズの有無をご確認ください。

※ 水道工事を実施しない場合は、水道工事ご担当者さまへ引き継ぎをお願いいたします。

安全上の注意

分解図



注1) 欠品やキズがあった場合は遅滞なく購入先へ連絡をお願いします。

注2) 図番19のクイックソケット(寒冷地用)は、逆止弁が付属しません。

注3) 施工にはソケットレンチ(対面巾13mm)、マイナスドライバー、24mmスパナが必要です。
現地でご用意ください。

安全上の注意

据付前にこの「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく据付してください。

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

⚠ 注意

湯水を逆に配管しないでください。

※水を出そうとしても、湯が出てヤケドをすることがあります。

お客様に引き渡す前に凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。

寒冷地仕様の水抜き方法は、取扱説明書を参照ください。

※凍結破損で漏水し、家財を濡らす財産損害発生の恐れがあります。

据付完了後は、配管接続部分及び水栓から、水漏れの無いこと、開閉レバー・ハンドルが閉じていることを確認してください。

※漏水で、家財を濡らす財産損害発生の恐れがあります。

一度、水を含んだパッキンは水漏れの原因になります。再度使用しないで新品をご用意ください。

※漏水で、家財を濡らす財産損害発生の恐れがあります。

使用条件

●給水、給湯圧力

◇貯湯式温水器(ボイラー、電気温水器)と組み合わせる場合

最低必要圧力0.05MPa(流動圧)～最高圧力0.74MPa(静水圧)の範囲とします。

給水・給湯圧力は必ず同圧にしてください。

◇給水圧力が0.74MPaを超える場合は、市販の減圧弁等で適正圧力に減圧してください。

●水勢の調節及び器具の点検を容易にするために、別途止水栓の設置をおすすめします。

●給湯に蒸気を使用しないでください。

●水栓下部を点検出来るように必ず点検窓を設けてください。

据付前の注意

●給水配管が右側、給湯配管が左側に配管されていることを確かめてください。

●給水は上水道に接続してください。

※井戸水、温泉水など異物を多く含む水には使用できません。

●開梱、取り付けの際には商品の表面に傷をつけないように十分に注意してください。

●必ず配管中の異物(ゴミ、砂等)を完全に洗い流してください。

●寒冷地仕様は不凍栓等を設置した寒冷地仕様配管設備でないと使用できません。

●配管接続部を隠ぺいしないでください。

●給水・給湯ホース緩み防止の為、給水・給湯配管は動かないように確実に固定してください。

●給水・給湯接続ねじは平行ねじG1/2です。テーパねじ(TP1/2,R1/2)には使用しないでください。

また止水には付属のパッキンを必ず使用してください。

据付手順

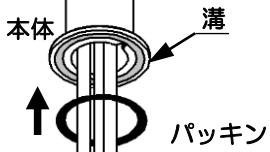
1. 本体の準備

1. 本体に水漏れ防止用パッキンを取り付けます。



ポイント

本体の裏側の溝にパッキンを合わせます。



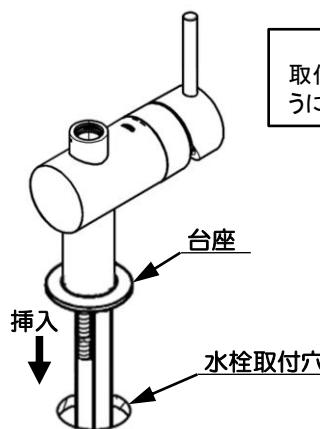
注意

取付穴が本体の中心になるように注意してください。

注意

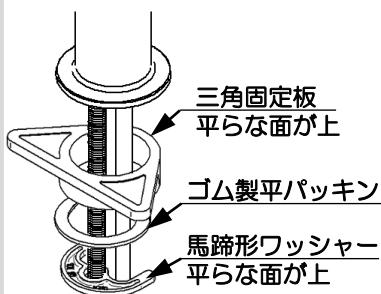
ホース同士がぶつかって取付穴に入れづらい場合は、片側から入れるなど少しづつずらしながら入れてください。

2. 本体をカウンター上部から取付穴に挿入します。

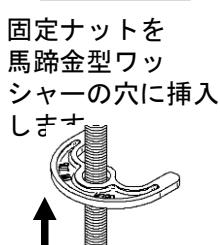


2. 本体の固定

1. 三角固定板、ゴム製平パッキン、馬蹄形ワッシャーをカウンタ下からホースに挿入します。



ポイント



三角固定板



平パッキン

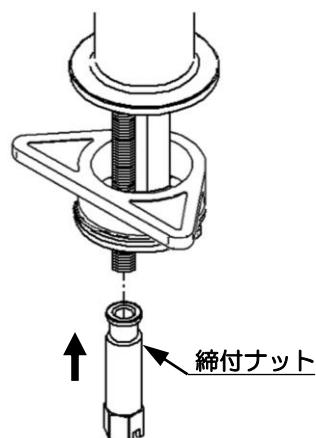


馬蹄型
ワッシャー

注意

三角固定板、馬蹄形ワッシャーの部品上下に注意してください。

2. 締付ナットで固定します。

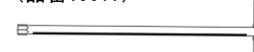


注意

締付ナットは締付過ぎにご注意ください。
部材が変形します。

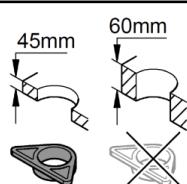
注意

別売の推奨ソケットレンチ
(品番19017)



対面巾: 13mm用

固定には市販品のソケットレンチ (対面巾13mm) もしくは別売の推奨ソケットレンチ等を使用して確実に締め付けてください。



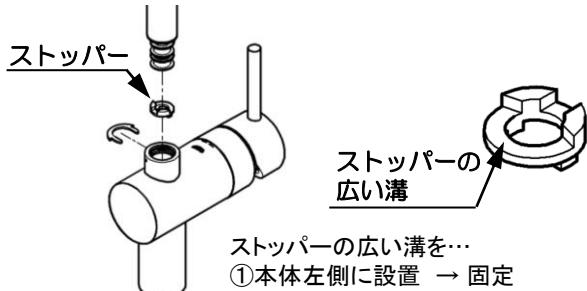
カウンター厚みが60mm以上の場合、
三角固定板は使用出来ません。
馬蹄形ワッシャーでしっかりと固定して
ください。

施工手順

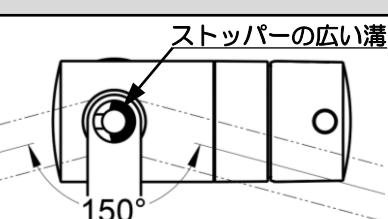
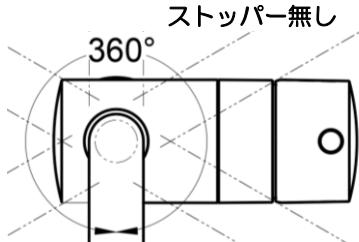
吐水口ストッパーの取付け

ポイント

本製品の吐水口は、ストッパーを設定することにより、固定、左右75度づつ回転、360度回転の3通りから選択できます。



※品番・仕様により上記以外の角度設定の場合もあります。

	ストッパー溝の向き	回転角度
① 左 右 75 度 回 転	溝が本体の 右側	 <p>ストッパーの広い溝 150°</p>
② 固 定	溝が本体の 左側	 <p>ストッパーの広い溝</p>
③ 360 度 回 転	ストッパー 未使用	 <p>ストッパー無し 360°</p>

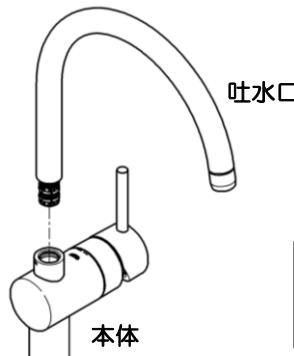
2. ストッパーを取付けます。



ポイント

360度回転をご希望の場合は未使用となります

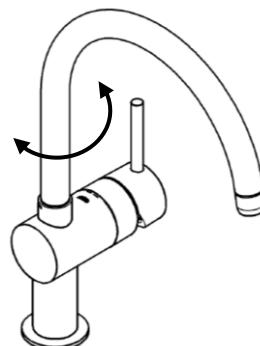
3. 吐水口を正面に向け、本体に差し込みます。



注意

はみ出したグリスは拭き取ってください。

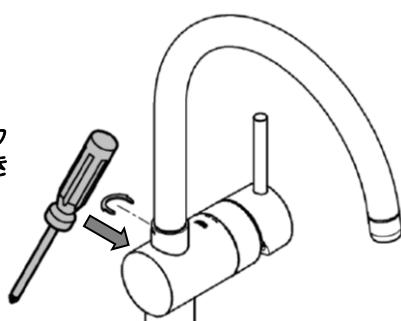
4. 吐水口を回転させ、首振り角度を確認します。



注意

※設定した回転角度と異なる場合はストッパーの設定を確認してください。
 ※吐水口の回転がスムーズでない場合は再度グリスを塗布してください。

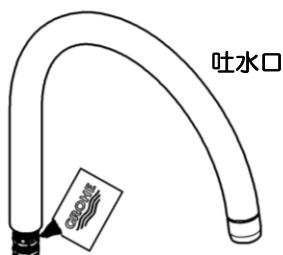
5. 吐水口に付属しているクリップを本体後部の切り込みに軽く叩きながら完全にはめ込んでください。



ポイント

クリップの取り外しは、クリップ両サイドの隙間に、先端の細い工具を差し入れ、左右交互に手前から後方へ押し出してください。

1. 吐水口の接続部にグリスを塗布します。

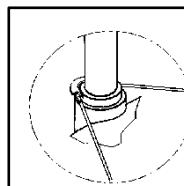


ポイント

グリスはOリング、樹脂部品、溝にまんべんなく塗ります。

注意

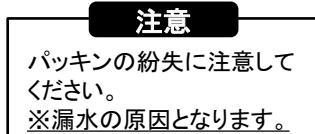
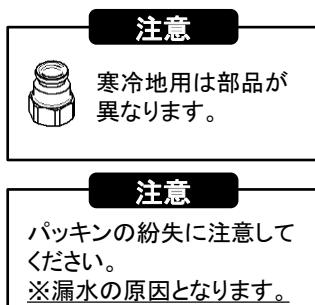
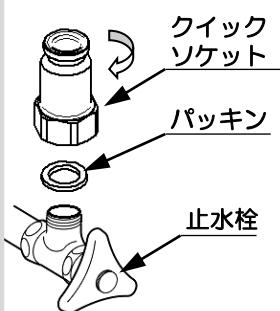
汚れの付着や、ゴミかみ、埃がないよう注意してください。



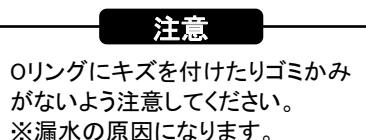
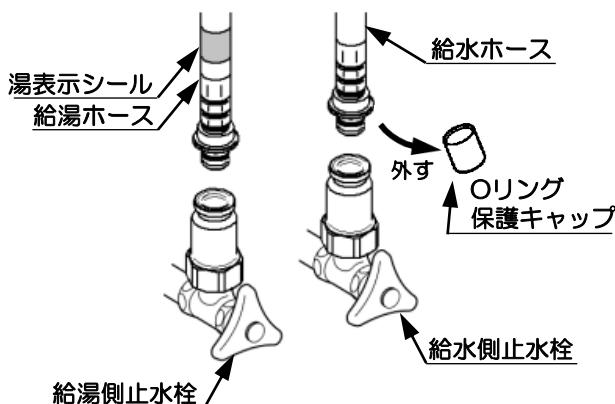
据付手順

5. クイックソケットの接続

1. クイックソケットを止水栓に固定します。



2. 給水・給湯ホースをクイックソケットに差し込みます。



注意

給水・給湯ホースを曲げる場合は、曲げ半径60mm以上確保してください。
※漏水の原因となります。

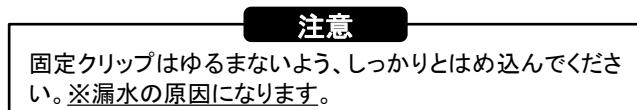
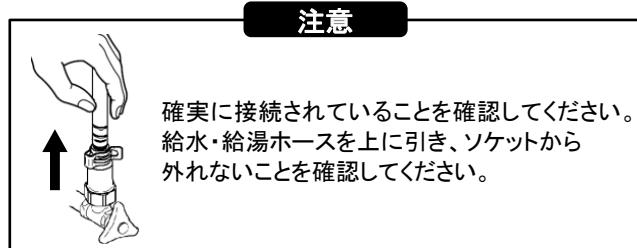
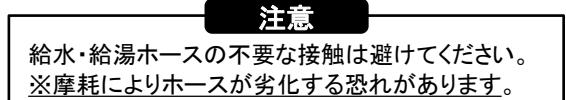
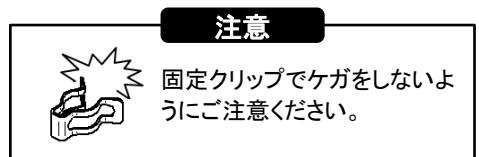
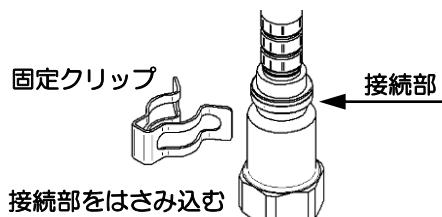
給水・給湯ホース
曲げ半径は60mm以上

注意

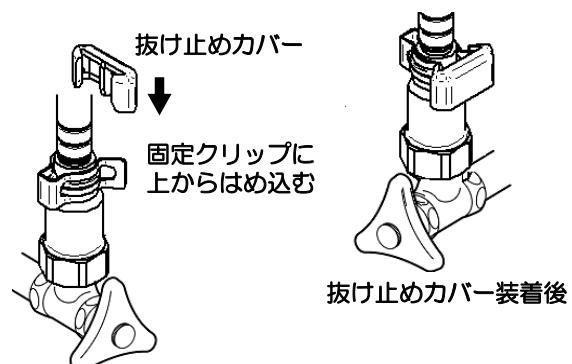
- ・給水・給湯管同士が接触しないよう、注意してください。
- ・給湯配管には給湯ホースのみ接続してください。
- ・給水・給湯管がねじれないよう注意してください。

※漏水の原因となります。

3. 固定クリップを給水／給湯ホースとクイックソケットの接続部にはめ込みます。



4. 抜け止めカバーを固定クリップにはめ込みます。



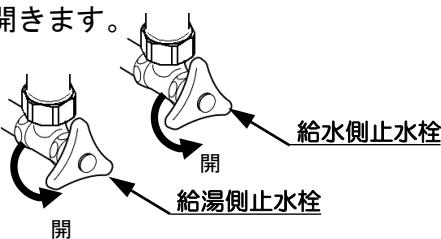
お願い

配管が設置されておらず、クイックソケットが接続できない場合は、水道工事ご担当者さまへ引き継いでいただき、配管への接続をお願いいたします。

取付後の確認

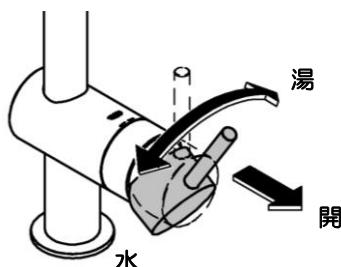
1. 通水確認

1. 水栓のレバーハンドルを閉じ、給水・給湯の止水栓を開きます。



2. 湯側・水側それぞれの通水確認と、スプレー・ヘッドの切替確認をします。

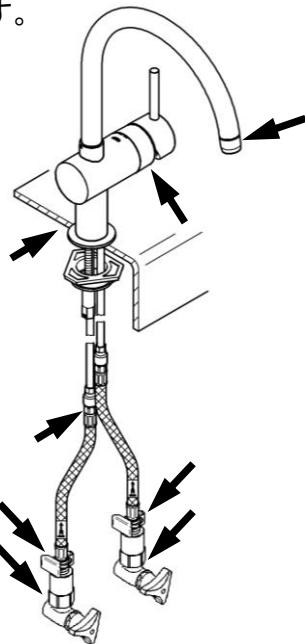
湯・水の通水確認



注意

※閉栓すると自動的に整流吐水にもどります。
※水圧が高い場合は切替操作が重く感じます。

3. 開閉レバーで止水し、接続部からの漏水がないか確認します。



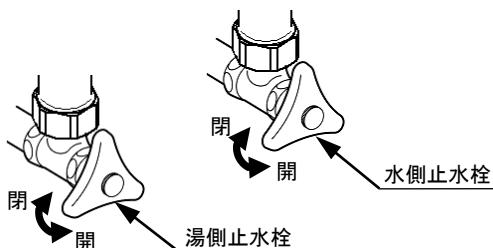
注意

※万が一漏水が確認された場合は、パッキンを新品に取り替え、再度規定のトルクで締付を行ってください。

※Oリングの切れ等が漏水の原因となります。

2. 流量調整

お使いいただく現場で、適量・適温が得られるよう、止水栓で調節します。



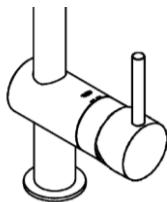
注意

レバーハンドルを全開にしたとき
シャワーの流量が湯と水でそれぞれ約8L/min(※)
を超える場合は、止水栓で流量調節をして下さい。
(※1リットルの容器をいっぱいにするのに約7~8秒)

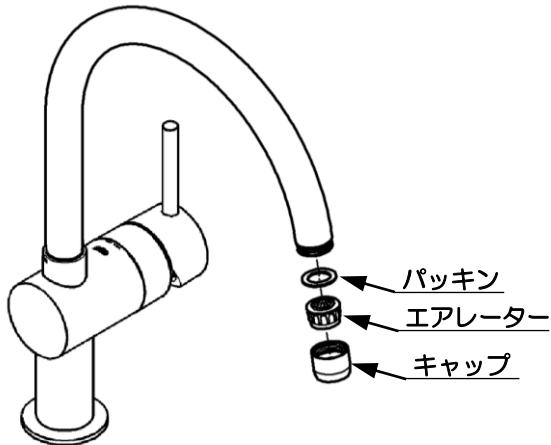
取付後の確認

3. エアレーターの清掃

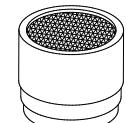
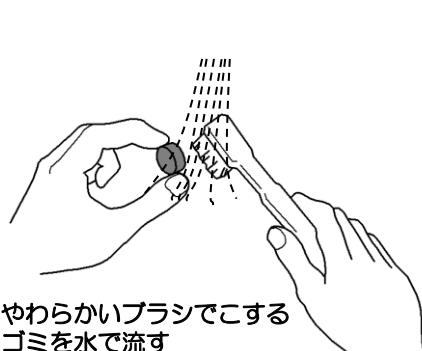
1. レバーハンドルを止水状態にします。



2. 手でキャップを回して泡沫口を取り外します。



3. エアレーターに付着したゴミを取り除きます。



エアレーター

やわらかいブラシでこする
ゴミを水で流す

注意

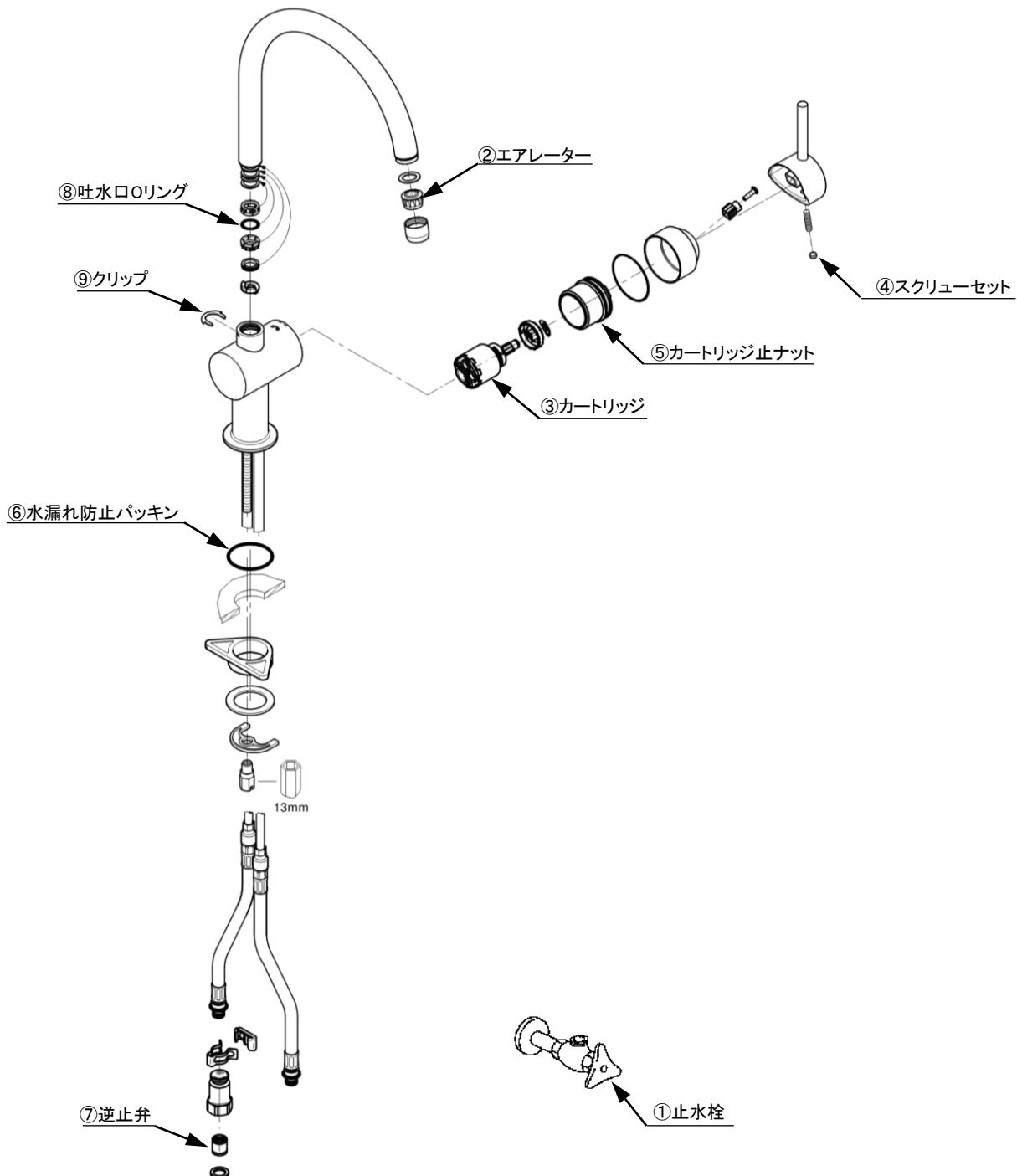
- ・清掃後は、専用工具を使用して、確実にエアレーターを取付けてください。
- ・専用工具は施工後、お客様にお渡しください。

ポイント

通水直後にはシールテープ、グリス等が付着している事があります。よく水洗いしてください。

故障と点検

製品設置後に万一故障した際は、次の要領で分解及び点検を行って下さい。



現象	点検箇所	処置
吐水量が少ない	①	圧力は十分か？十分開いているか？
	②⑦	破損・ゴミかみはないか？
水が止まらない	③	破損・ゴミかみはないか？
	①	圧力は十分か？十分開いているか？
温度不良	③⑦	破損・ゴミかみはないか？
	①	圧力は十分か？十分開いているか？
レバーがガタつく	④⑤	正しく取付けられているか？
カウンター内の漏水	⑥	正しく取付けられているか？
吐水口が回転しない	⑨	正しく取付けられているか？
吐水口からの漏水	⑧	キズ・ゴミかみはないか？

注記:寒冷地仕様には逆止弁がありません。

グローエジャパン株式会社

ホームページアドレス<https://www.grohe.co.jp/>